

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課
担当課長名：東 智徳

事業名 底土空港八重根線	事業区分	街路	事業主体	東京都
起終点 自：東京都八丈町大賀郷 至：東京都八丈町大賀郷			延長	1.6 km
事業概要 八丈3・4・1号線は、島の玄関口である底土港から八丈島空港を経て八重根港を結ぶ計画延長7.4kmの幹線道路であり、主要港への交通アクセスの向上島内産業の振興、土地利用の拡大、災害時の避難路の確保を目的として、4つの事業区間に分けて整備を進めている。 本事業区間は、第4期区間延長約1.6kmの2車線道路として整備するものである。				
H 6年度事業化	H 元年度都市計画決定	H 6年度用地着手	H 15年度工事着手	
全体事業費	29億円	事業進捗率	13%	供用済延長 0 km
計画交通量	7,400台/日			
費用便益分析結果	B / C (事業全体) 1.1 (残事業) 1.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 29/ 32億円 〔事業費：23/ 26.0億円〕 〔維持管理費：6.4/6.4億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 34/ 34億円 〔走行時間短縮便益：27/ 27億円〕 〔走行費用減少便益：4.8/ 4.8億円〕 〔交通事故減少便益：2.4/ 2.4億円〕	基準年 平成15年度
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（八丈島空港へのアクセス向上） ・個性ある（観光地へのアクセス向上） 他2項目に該当				
関係する地方公共団体等の意見 ・「東京都離島振興計画」(H15～24)において、主要道路は交通機能のみならず景観に配慮した整備としている。 ・「エイトブルー構想」(H7策定)において、本路線は、八丈島の玄関口を結ぶ大動脈として整備としている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・中学校の移転や八丈島空港のターミナル施設の移設が完了している。 ・八丈島空港の拡張事業を進めている。(東京都港湾局施行)				
事業の進捗状況、残事業の内容等 一部において用地買収が難航し、工事着手までに時間を要したが、平成15年度より工事に着手している。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成15年度未までにほぼ用地買収が終了し、平成18年度末の交通開放を目指し整備を進めている。				
施設の構造や工法の変更等 本事業区間は街築工事が主体であり、事業手法、施設規模等の見直しの可能性はない。				
対応方針		事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図				

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。